

克己

第60号

発行日
令和2年1月17日

発行
天城中学校 PTA
編集 広報委員会



人間力から始めよう

校長 栗原 正行

皆さんは毎日子どもの姿を見ながらいろいろなことを考え、親としての支援に苦慮されていると思います。ところで、子どもに親としての皆さんはどのように映っているか考えたことがありますか。良い親、優しい親、物わりのいい親を目指してご機嫌を取りましょう、と言いたいわけではありません。

親が子どもにしてあげたいことはたくさんあります。それが大切でしょうか。しっかりとした塾を選んであげる、英会話はよその子より先に学ばせる、習い事には通わせてあげる、欲しい物は不自由なく与える、子どもの自由を何よりも大切に考える、もめごとに出会ったら親が解決してあげる…。この際、順序について考えてみたいと思います。

①自分の親をしっかりと実感でき、安定した気持ちで生活させる。

②子どもらしく生きるため基礎をしっかりと身につけさせる。

③生きる喜び、夢、希望、目標の意味を学ばせる。

この三つが身についた子ども

もは、そこから先は自分の力で解決したり、向上したりするものです。

さらに人間らしさの部分を考えてみると、挨拶ができる、目を見て普通の会話ができる、感謝の言葉が言える、我慢、譲ることができるとなどは、不可欠の条件です。人間的な豊かな感情がある、基本的なルールを理解しようとする、将来について考えようとする、障害にぶつかったときの対処の方法を考える、自分の持っている力に気づきそれを発揮しようとする、なぜ勉強しなければならないか理解するなど、これら親の望んでいる力は全て人間としての基本的な力から発生し、親の指図は必要としないものです。しかし、この人間力がついていないのに次々と要求したり詰め込んだりするとパニックを起こしてしまうのです。それは、子どもに原因を求めても解決しません。私も含め、親として人間力について改めて考えたいものです。



葵流祭スローガン
Over the TOP! ~「ト」克己~



特別なことではないですが

PTA副会長 田沼 貴生

「親の背を見て育つ」と言いますが、子が似てきている気がします。私の中学時代、まんまです。私はパジャマで登校したことはありませんが。

身近な見本の一人として責任は重要です。好みや趣味の影響も大きく、危険なことや真似してほしくない姿は見せられません。むしろ健全になり、親として成長させてもらっている気がします。

子の頑張っている姿は、何より励みになります。個性全開の子の背を見つつ、加齢臭、老眼と共に「おやじ」の階段を上る私のカッコイイ背中を見せ、互いに認め合って成長していけたらと思います。

親だけでなく、先生や友達、色々な背中を見て吸収し、自分を作ってほしいものです。

最後の中体連

PTA副会長 大橋 美穂

楽しみに入学した中学校ももうすぐ卒業です。とても早く感じます。

部活は女子テニス部。小学校まで、運動は体育の授業ぐらいだったので、運動部に入

って、正直驚きました。

3年生最後の中体連2週間前に、左肘を怪我して出場が危ぶまれましたが、なんとか間に合って出場できました。結果は惜しくも1回戦負けでしたが、1年生の頃に見た中体連の姿から大きく成長して

とても頼もしく見えました。とても貴重な3年間を過ごしたと思います。

これからも、色々なことがあるでしょう。苦しいこともあると思います。それでも前を向いて歩いて行けるように、これからも応援していきたいです。

学校生活

PTA副会長 田中 里恵

気づけば中学校生活も終わりに近づき思い出話をしながら娘の成長を感じています。

先日の学習発表会では、日々の地域学習について知ることができ、天城のことを様々な視点から考えていた子どもたちに、頼もしさを感じました。娘も、伊豆市の人口問題や移住について調べ、自分

なりの考えをまとめていました。また、家でも何度か話をする機会があり、普段何気なく生活する中では考えないことを一緒に考えることができました。自分の生活する地域がよりよい場所になるよう願う

娘の姿に成長を感じています。そして、この天城の人々との関わりや中学校生活が充実し、有意義なものになったことをとても嬉しく思います。

失敗や挫折があなたの成長に

総務委員長 増田 幹男

人生は失敗や挫折の連続で、自分の思い通りにはならない。誰もが味わう経験だが、その苦痛は決して小さいものではない。つらい気持ちを無視すると自分の心をこじらせることもあるので、自分に合った心の癒やし方や乗り越え方を見つけておくことが今後の人生が生きやすくなる。いつでも挫折を乗り越えられる考え方を手に入れると、失敗や挫折が怖くなくなるので、行動力やパワーが上がり、大きく成長すると思う。

また、失敗や挫折と思われる事柄も、考え方や見方を変えるとプラスに考えることができる事実は、解釈無数である。

感謝

施設委員長 鈴木 尚至

私には2人の娘がいます。中学生にもなると父親との会話も少なく、コミュニケーションを取ることも減っていました。

しかし、今年度役員をやら

せていただくことで、学校へ行く機会もあり、少しですが娘たちの学校生活を見ることができました。

学校では友達と笑顔で過ごしている様子を見ることができ、安心しました。葵流祭では、笑顔でダンスを踊ったり、素晴らしい歌声を聴かせてくれたりしました。

素晴らしい仲間たちと成長出来たことに感謝したいと思っています。

もう中学生なんだから

生活委員長 松村 教子

「もう中学生なんだから。」この言葉を良い意味でも、そうでない時も使っていました。家では相変わらずでした。学校での行事ごとに変化が大きく見られました。

今年は役員で関わる機会が多かったのもあります。

特に葵流祭体育の部。子どもたちは裏方をやりつつ、競技にも全力で参加し、チームカラーで揃えた先生と一緒に取り組み姿には応援も熱が入りました。「中学生なんだから」ではなく、色々な経験を積んで成長してきたのを感じられました。

これまで、ほぼ同じメンバ―で過ごしてきた仲間たちが、それぞれの道を行きますが、学校生活で得た絆を大切に、

この先も進んでいってほしいと思います。

実体験から学ぶこと

広報委員長 シエイ 奈美

小学校2年生に進級した際に娘が一言こう言った。

「入学してくる1年生には優しくしてあげるんだ」と。どうしてそう思うのかと聴いてみると、自分が入学した時に優しくしてもらって嬉しかったから、と答えた。私はその言葉を聞いて実体験を通して学ぶことの大切さを実感したのである。

そして、この経験は中学校に入学しても変わらず、部活動を通じての先輩の優しく厳しい態度から後輩への接し方を学んだ。これはまさしく実体験からしか学べないこと。そして、これが縦のつながりを大事にする天城の良さだと思ふ。

娘は天城の自然とたくさんの方に見守られ大きくなった。この思いを胸に天城から大きく羽ばたいてほしいと思う。



葵流祭

文化の部

最後の文化の部

3A 田中 愛夢留

今年の文化の部は、初めて縦割りで合唱をしました。最初はまとまりがなく、声も出ていない状態でした。しかし、練習していくうちにまとまりも出てきて、声も出るようになり、とても良い合唱になったと思います。

クラス合唱では、指揮者として良い合唱にできるように、強弱や発音に気をつけて練習しました。本番では、一番良い合唱ができました。また一つ、成長できた文化の部になりました。



僕の合唱

2A 長田 和夫

「次は2年A組『翔る川よ』ガチガチに緊張してステージに上がりました。練習通りにできるか不安で足が震えていました。ソプラノとアルトから始まり、テノールが入るとき、滑り出しはまあまあ良く入れました。でも、サビで声が出なくて、そこから引きずってずっと声が出ませんでした。少しの満足感と後悔の残った僕の合唱。来年は、最後の葵流祭。もっと大きな満足感を得るためにベストを尽くしたいです。」



やって良かった

1B 小田 千尋

初めての文化の部で、私は実行委員になりました。実行委員になったら仕事のやりがいを感じられると思い、立候補しました。体育の部が終わった後、クラスの歌練習も実行委員の仕事も本格的になりました。朝も昼も放課後も頑張って仕事をしました。本番で葵流祭の振り返りムービーを見て、「頑張って良かった」と実感しました。実行委員に入れた良かったです。



葵流祭 体育の部

1Aの宝物

1A 三田 瑛友

1年A組の葵流祭体育の部で特に頑張りたい種目は、「大縄」と「乱？嵐？RUN!」でした。初めての練習はなかなかうまくいかず、「大縄」ではひっかかり、「乱？嵐？RUN!」では、転んでばかりで声も出ませんでした。しかし、責任者が作戦を練って、みんな全力で取り組みました。

当日、どちらの競技も最高記録が出て、達成感がありました。今年の体育の部は、「1Aの宝物」として、思い出に残りました。



2Bの全力

2B 齋藤 増花

初めてのクラス対抗戦。出場する競技が多く、大変なことがたくさんありました。そんな中、私たち2Bは「大縄」に力を入れました。練習する度に記録が伸び、100回を目標に頑張りました。

本番では目標を達成し、最高記録192回。堂々の1位でした。みんな喜び、達成感でいっぱいでした。練習ではうまくいかないことが多く、ぶつかることもありましたが、総合優勝をつか取れたのは、みんなの「全力」があったからだと思います。



「3年A組」として

3A 扇谷 青空

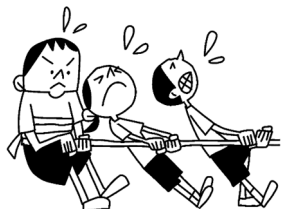
私たち3年生にとって最後の戦いとなった今年の体育の部。新たな試みもあり、かけがえない時間となりました。

この体育の部で一番嬉しかったことは、3年A組として戦えたことです。クラスみんな考えて、意見を出し合い、創りあげることができたので、とても楽しかったです。

総合優勝はできなかったけれど、この体育の部を通して、全員で協力することの素晴らしさを改めて感じました。

最後に、3A、ありがとう！

5色 対抗

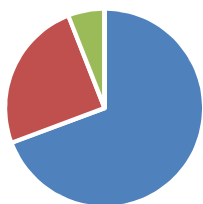




天城学習発表会

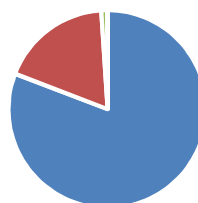


「天城学習」は自分のためになる、
または活動ですか。



■ とてもそう思う ■ まあそう思う
■ あまり思わない ■ 思わない

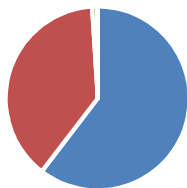
「天城学習」は地域の為に役立つ
学習だと思いますか。



■ とてもそう思う ■ まあそう思う
■ あまり思わない ■ 思わない

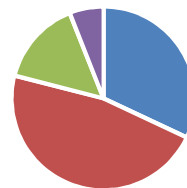
生徒アンケート結果

展示を見たり、各学年の発表を聞いたりして
学習したことがよく分かりましたか。



■ とてもそう思う ■ まあそう思う
■ あまり思わない ■ 思わない

パネルディスカッションをやってみて、
自分の考えをもてましたか。



■ とてもそう思う ■ まあそう思う
■ あまり思わない ■ 思わない



本校の特色でもある「天城学習」は、様々な視点から天城について考え、3年間を通して学習を行います。1年生は、福祉、自然体験学習、2年生は、防災、職業体験学習、そして3年生は、古都京都からヒントを探り、天城をよりよくするための提言を行いました。



初の試みである「パネルディスカッション」では、会場を巻き込んで、天城の活性化についての討論を行いました。パネラーの代表生徒を始め、様々な意見が飛び交いました。生徒、保護者、地域、相互の視点から、今後の天城の在り方を考えることができました。

自然体験 (1年)



天城の魅力発信方法は？

1B 土屋 朋楓

私は、天城にたくさんさんの魅力があることを自然体験学習で改めて実感しました。

旭滝やスコリア丘、滑沢溪谷などの天城の名所。私はあまり天城の名所を知りませんでした。しかし、今回の学習で、天城の魅力を知ることができ、それを人に伝えるまでになりました。これは、天城の魅力を伝える大きな一歩だと思います。

私たちの手で、この天城を守り続ける方法を考えてみませんか？天城をこの先ずっと守っていくために。



職場体験 (2年)

職場体験から学ぶ

2A 鈴木 凜

私は職場体験で夢の実現に向け、伊豆動物病院で動物看護の体験をしました。

私がたくさん学んだ中で、最も心に残っていることは、「動物が好き」ということでは務まらない」ということです。時には『死』が目前の動物も来院します。そんな時でも冷静に判断して飼い主に事実を伝えなければなりません。別れを告げ、最期までケアするのも動物看護師の仕事です。私は、命の大切さを考えられる動物看護師になりたいです。



地域学習 (3年)

これからの天城

3A 遠藤 陽向

地域学習では、今後の天城の活性化について探るため、旅館などの施設を訪問しました。その中でも印象に残った場所は、『雲風々』のグランピングです。天城の大自然を堪能でき、テントやトレイラーもおしゃれでした。他にも天城にはたくさんさんの魅力的な宿泊施設があります。もっと天城に観光客を呼ぶには、家族連れが楽しめる自然を使ったアスレチックのようなものを作れば、観光客も増え、旅館の利用者も増えると思いました。

